百人一首10首チャレンジ

上の句と下の句を線で結びましょう

名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　日付：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日

上の句	下の句
1. 秋の田の かりほの庵の	**ア** わが衣手は 露にぬれつつ
2. あしびきの 山鳥の尾の	**イ** なががながし夜を ひとりかも寝む
3. 天の原 ふりさけ見れば	**ウ** 春日なる 三笠の山に出でし月かも
4. 花の色は 移りにけりな	**エ** 雲がくれにし 夜半の月かな
5. ちはやぶる 神代も聞かず	**オ** よに逢坂の 関はゆるさじ
6. ひさかたの 光のどけき	**カ** 霧立ちのぼる 秋の夕暮
7. めぐり逢ひて 見しやそれとも	**キ** しづ心なく 花の散るらむ
8. 夜をこめて 鳥のそらねは	**ク** わが身世にふる ながめせしまに
9. 瀬をはやみ 岩にせかるる	**ケ** われても末に 逢はむとぞ思ふ
10. 村雨の 露もまだ干ぬ	**コ** からくれなゐに 水くくるとは

百人一首10首チャレンジ ― 解答

1. 秋の田の かりほの庵の → ア（わが衣手は 露にぬれつつ）
2. あしびきの 山鳥の尾の → イ（ながながし夜を ひとりかも寝む）
3. 天の原 ふりさけ見れば → ウ（春日なる 三笠の山に出でし月かも）
4. 花の色は 移りにけりな → ク（わが身世にふる ながめせしまに）
5. ちはやぶる 神代も聞かず → コ（からくれなゐに 水くくるとは）
6. ひさかたの 光のどけき → キ（しづ心なく 花の散るらむ）
7. めぐり逢ひて 見しやそれとも → エ（雲がくれにし 夜半の月かな）
8. 夜をこめて 鳥のそらねは → オ（よに逢坂の 関はゆるさじ）
9. 瀬をはやみ 岩にせかるる → ケ（われても末に 逢はむとぞ思ふ）
10. 村雨の 露もまだ干ぬ → カ（霧立ちのぼる 秋の夕暮）